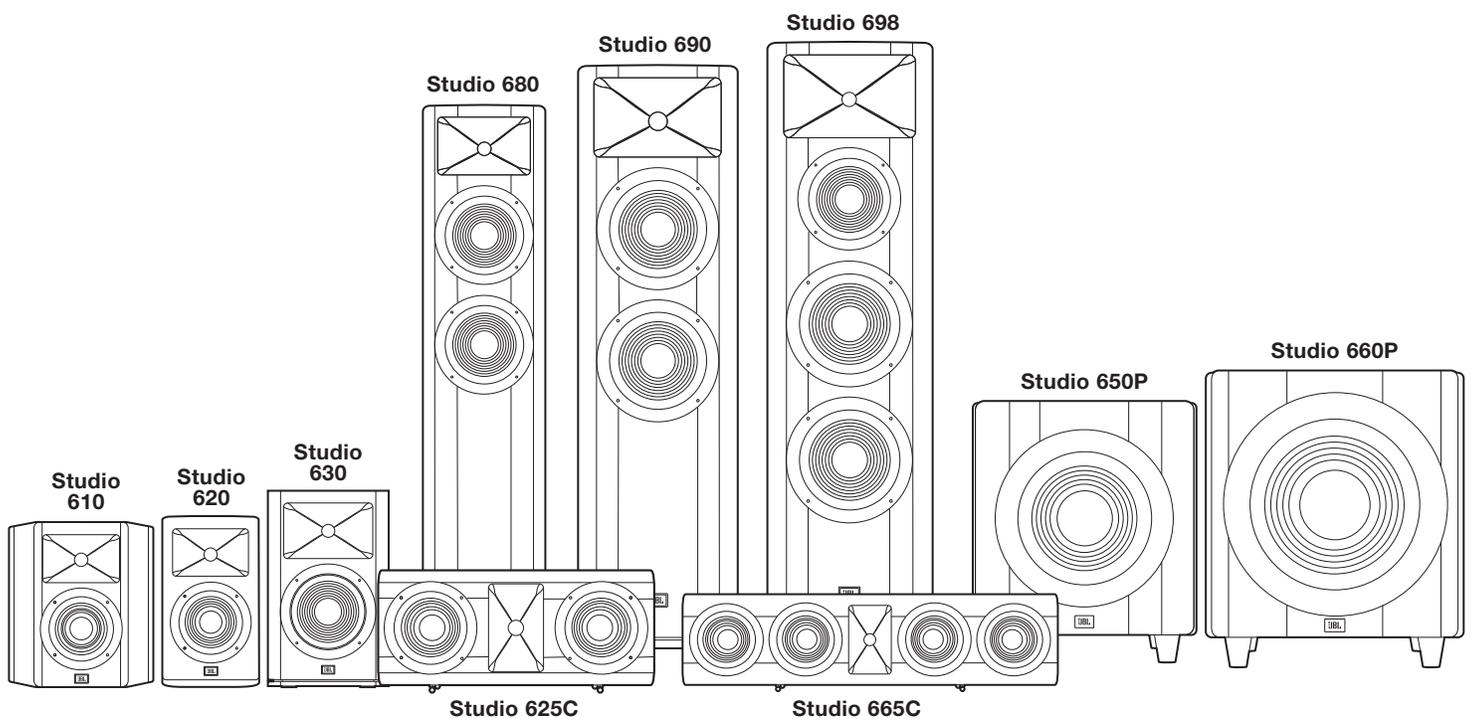


# JBL® STUDIO 6シリーズ

ラウドスピーカー



## 本JBL®製品をお選びいただき、ありがとうございます。

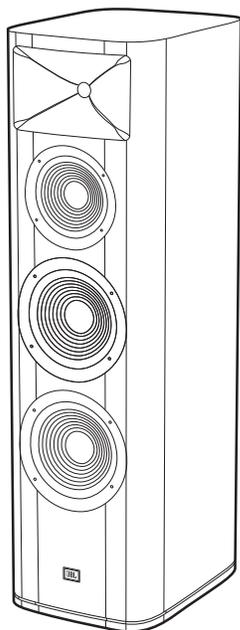
60年以上の間、JBL®のエンジニアたちは、ライブ・パフォーマンスから移動中や家、車、オフィス内で再生する音楽のレコーディングまで、あらゆる音楽と映画のレコーディングおよび再生シーンに関わってきました。

お客様が選択されたこのJBLシステムは期待される楽しそうな雰囲気をご提供します。お客様が家、車、職場にオーディオ機器の追加購入をお考えの場合、再びJBL製品を選択されることになります。

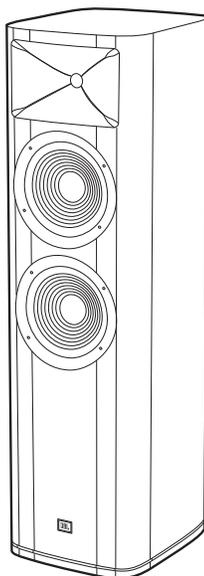
弊社のウェブサイトwww.jbl.comにお持ちの新製品を登録してください。登録すれば、弊社の最新情報を受け取ることができ、お客様をより理解し、そのニーズに応える製品を作るのに役立ちます。

## 同梱品目

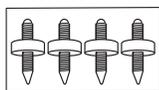
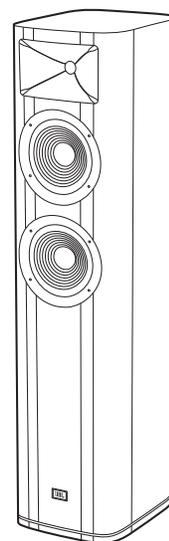
Studio 698



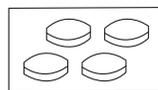
Studio 690



Studio 680

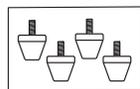
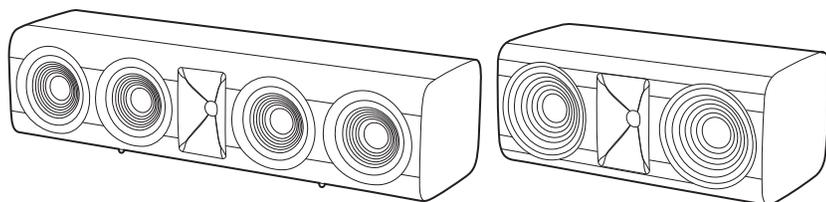


スパイク  
Studio 698/690/680



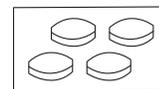
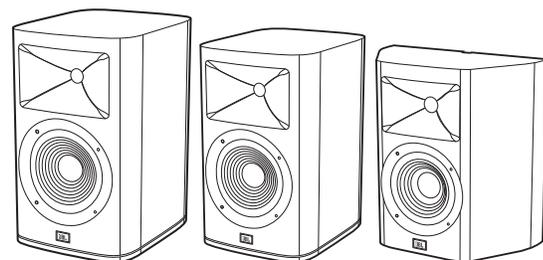
フィートパッド  
Studio 698/690/680

Studio 665C/625C



ゴム足  
Studio 665C/625C

Studio 630/620/610

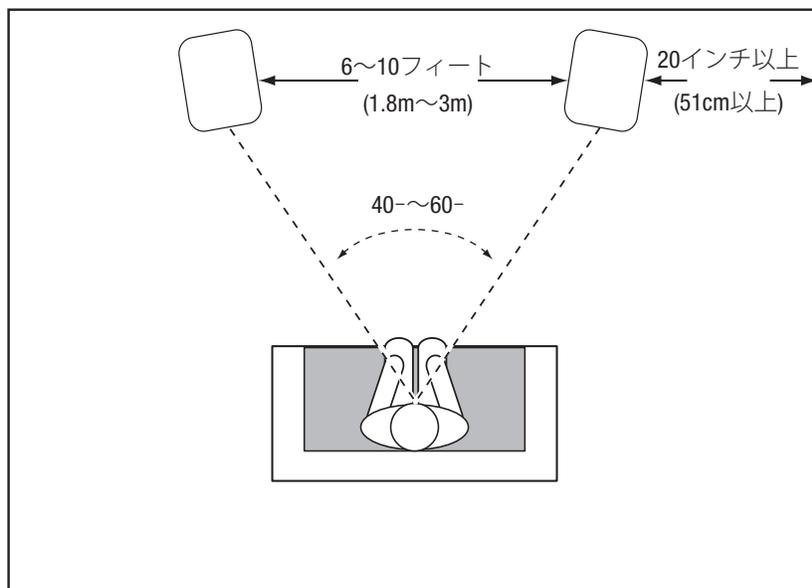


フィートパッド  
Studio 630/620/610

## 設置

### STUDIO 698/STUDIO 690/STUDIO 680-左右のチャンネル

最良のサウンドにするために、スピーカー同士を6〜10フィート (1.8m〜3m)離して設置してください。リスニング・ポジションに対してスピーカーに角度をつければ、ステレオ・イメージングを改善できる可能性があります。リスナーとスピーカーの角度が40度〜60度の時、スピーカーは最も正確なステレオ・サウンドステージを生み出します。



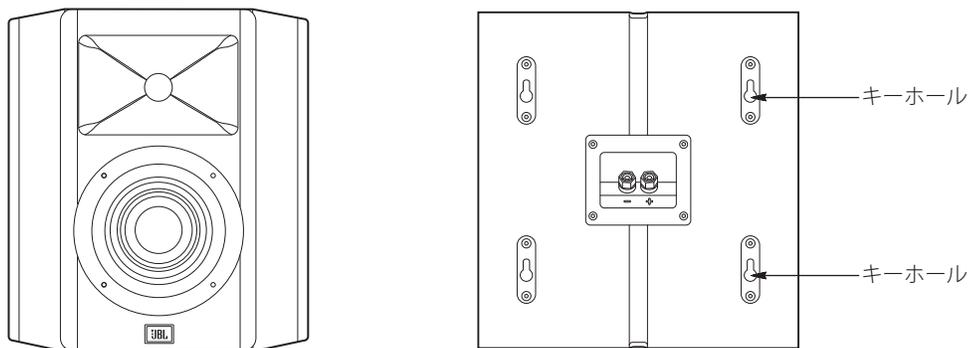
一般的に、スピーカーが壁または部屋の隅に近づくほど、低音は増加します。

最高のパフォーマンスのため、スピーカーは側壁から20インチ(50cm)以上離れたところに置くことをお勧めします。

### STUDIO 610の壁への取り付け 610

Studio 610スピーカーは壁に直接取り付けられるように設計されています。各スピーカーには背面に4つのキーホールがあり、ウォール・スタッドに固定する、4本の4.0x38mm木ねじが必要です。ウォール・スタッドが使用できない場合、4.0x38mmのねじに相当する留め具を取り付けてください。

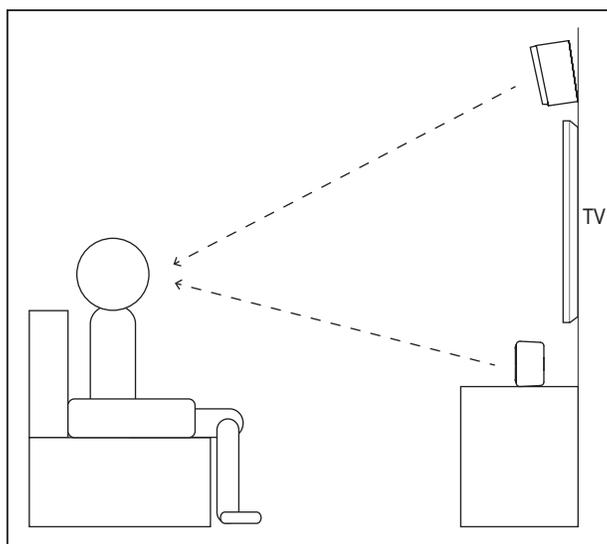
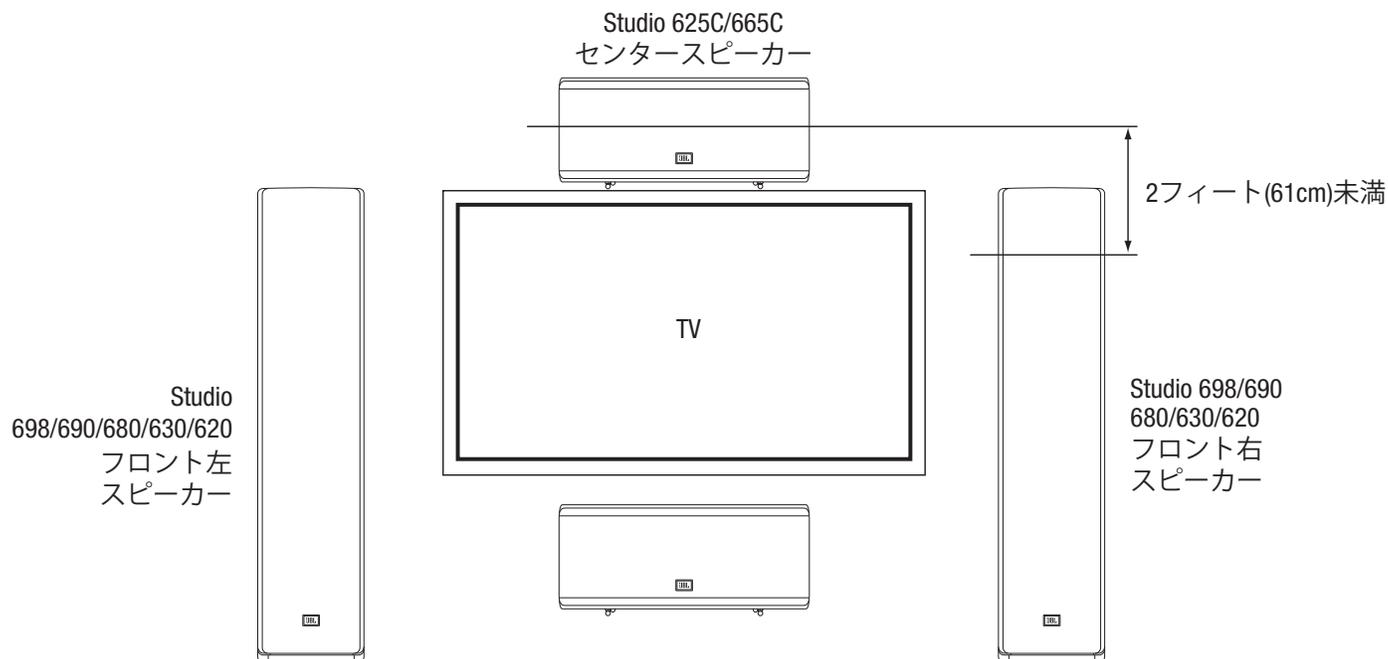
注：スピーカーを適切で安全に壁へ確実に設置する、取り付け金具(ホームセンターで購入できる)の適正な選択と使用はおお客様の責任です。4.0x38mm木ねじは付属していません。



- 1) 付属の壁取り付け用ブラケットを使用して、取り付けねじを固定したい壁の位置に印をつけてください。
- 2) ステップ1で目印としてつけた印を利用して、4本の4.0x38mmの木ねじを壁に固定してください。壁とねじ頭の間に1/16インチ(1.59mm)のスペースを空けておいてください。ウォール・スタッドが使用できない場合、適切な留め具を使用してください。
- 3) スピーカー背面のキーホールを壁のねじ頭に合わせて、スピーカーを壁に取り付けてください。いったん適切に設置すれば、スピーカーはわずかに下がり、しっかりと固定されます。

### STUDIO 625C/665C

625C/665CセンタースピーカーはTV画面の中央の真上が真下に設置します。スピーカーホーンを中心はフロント左とフロント右スピーカーホーンの間上下2フィート(61cm)までの位置にします。TVセットに十分な奥行きがある場合、TVのフロントエッジとスピーカーのフロントエッジを合うようにしてTVの天面にセンタースピーカーをセットすることができます。

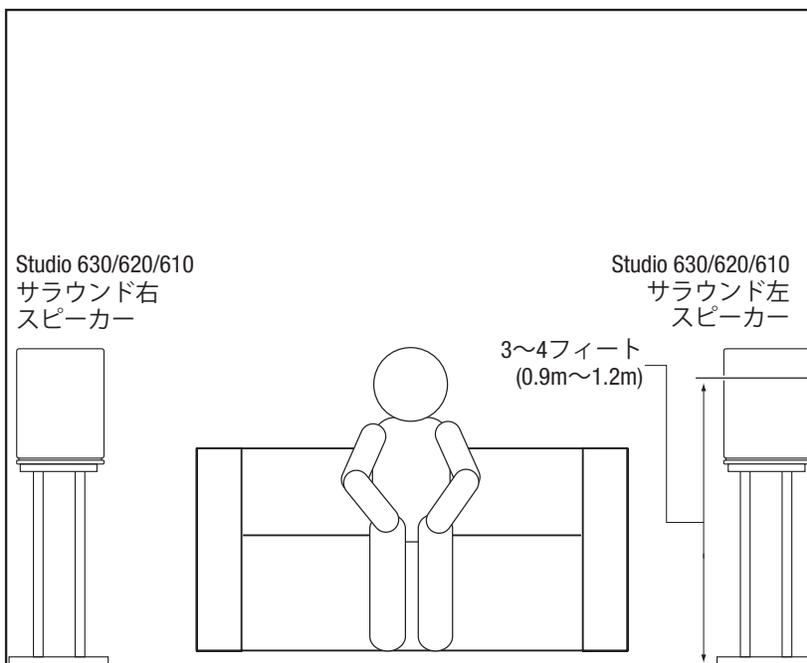
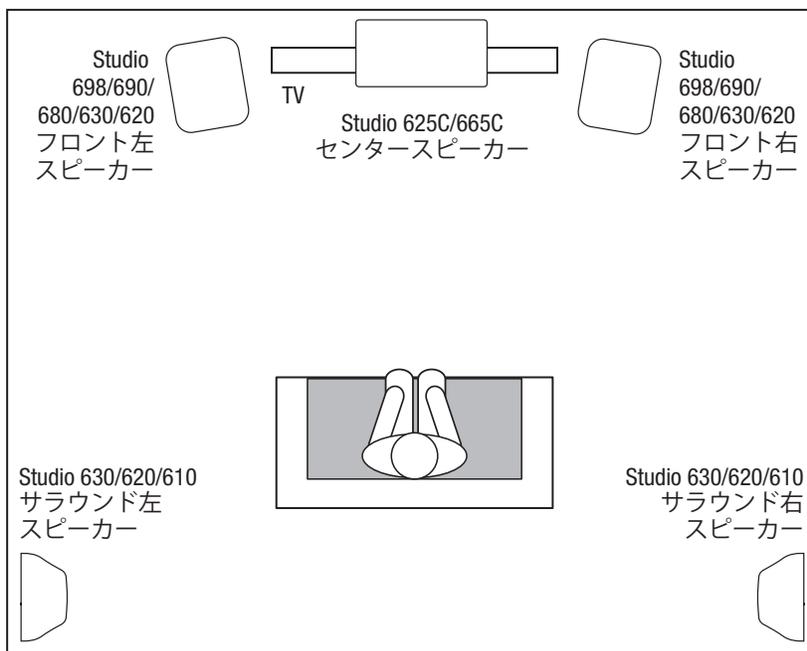


注：TVの上または下に625C/665Cを設置することができます。

注：オーディオのリスニング・パフォーマンスを向上させるには、頭と同じ高さになるようにセンター・スピーカーを調整してください。

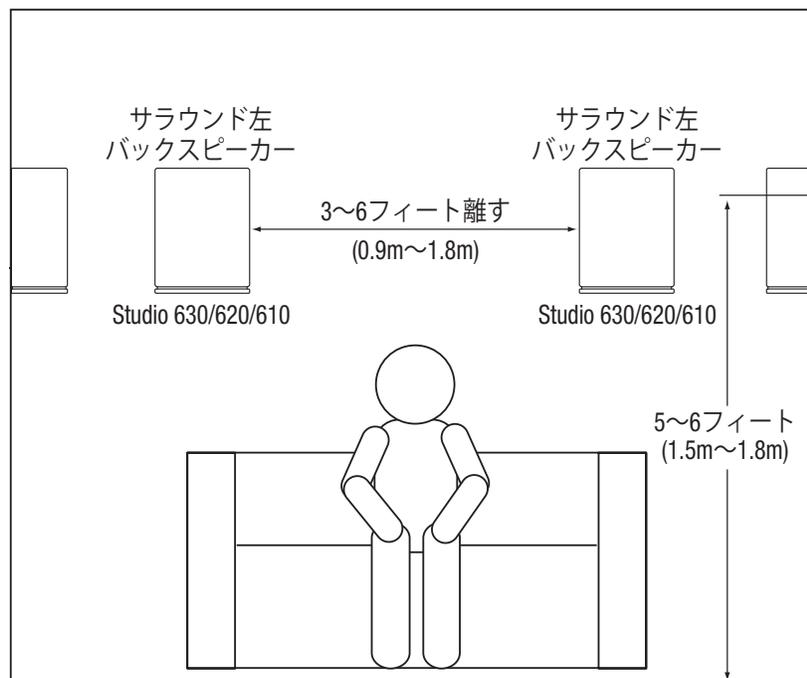
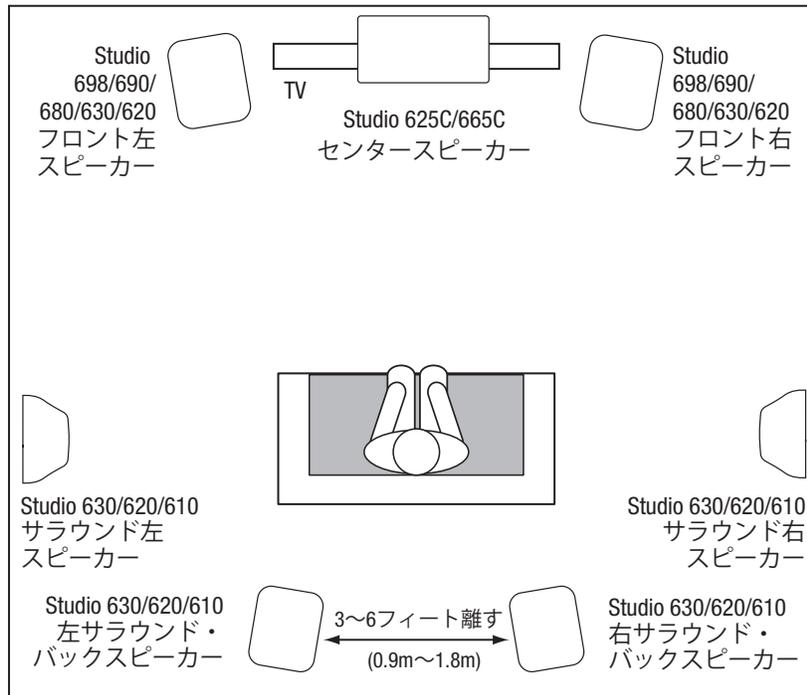
**STUDIO 630/620/610-サラウンドチャンネル(5.1チャンネルシステム)**

Studio 630/620/610スピーカーを5.1チャンネルシステムでサラウンド・チャンネル・スピーカーとして使用する場合、お互いに向かい合うようにして、リスニングポジションの少し後ろに設置してください。床から3~4フィート(0.9m~1.2m)の高さが理想的です。別の設置位置は、リスニング・ポジションの真後ろの壁で前向きです。サラウンド・スピーカーは音楽の再生中、その存在を意識させないようにする必要があります。フロント左、フロント右、センタースピーカーから聞こえるサウンドに加えて、拡散するバックグラウンド・サウンドが聞こえるまで設置位置を調整します。



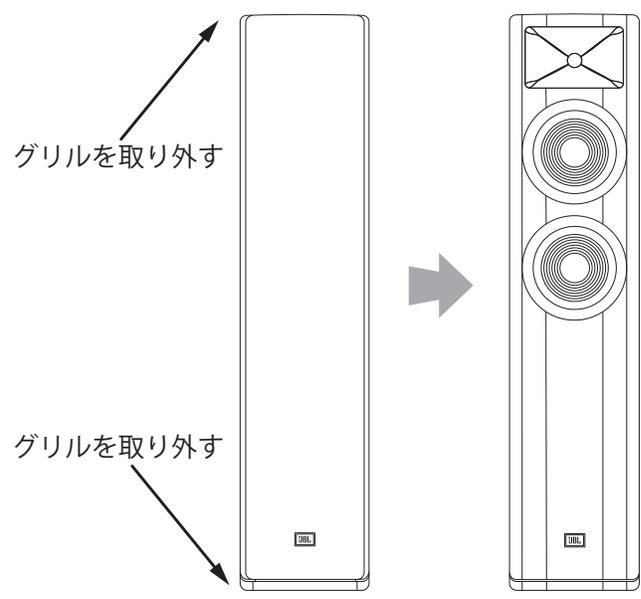
### STUDIO 630/620/610-サラウンドチャンネル(7.1チャンネルシステム)

Studio 630/620/610スピーカーを7.1チャンネルシステムで使用する場合、サラウンド・サイドスピーカーを床から最低3〜4フィート(0.9m〜1.2m)の高さで、リスニングポジションの両側の真横に設置します。サラウンド・バックスピーカーもリスニング・ポジションの後ろの壁に、床から最低3〜4フィート(0.9m〜1.2m)の高さで設置し、2本のスピーカーの間隔を3〜6フィート(0.9m〜1.8m)開けてください。



## グリルを取り外す

エンクロージャーから引っ張ってStudio 6スピーカーグリルを取り外すことができます。



## 接続

**警告：**接続を行う前に、システムの全ての電気部品がオフ(できればACコンセントから抜いてある)になっていることをご確認ください。

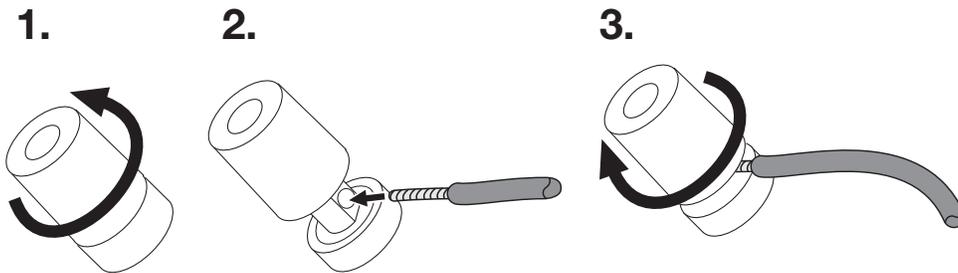
スピーカーとアンプにはプラスとマイナス(「+」と「-」)コネクタがあります。全てのStudio 6シリーズスピーカーには、ターミナルカップ盤に「+」と「-」記号が付いたコネクタがあります。さらに、「+」コネクタには赤い印、「-」コネクタには黒い印が付いています。

確実に適切な極性にするため、スピーカーの「+」(赤色)コネクタにアンプまたはレシーバーの背面にある各「+」コネクタを接続してください。同様に、「-」コネクタも接続してください。接続時に、極性を逆に(すなわち、「+」を「-」にまたは「-」を「+」に)接続しないでください。それは、貧弱なステレオ・イメージングとバス・パフォーマンスの低下の原因になります。

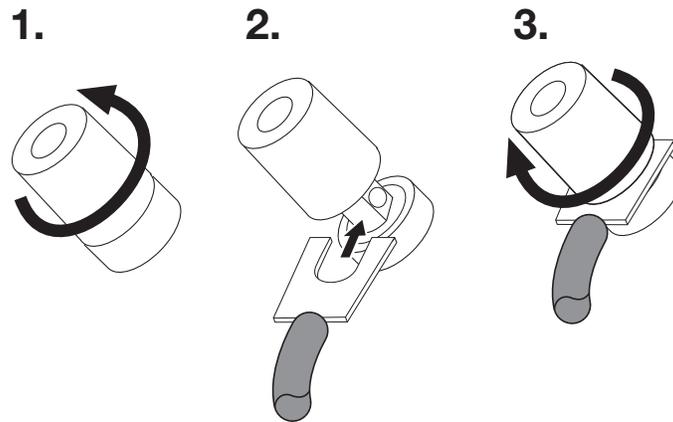
**重要：**「+」と「-」の線、またはコネクタが互いに、あるいは他の端子と接触していないことを確認してください。配線に触れると回路がショートし、レシーバーまたはアンプが破損する可能性があります。

Studio 6シリーズ・スピーカーの金メッキ・スピーカーコネクタは様々なタイプのワイヤーコネクタに対応しています。裸線、スパードコネクタ、ピンコネクタ、バナナコネクタです。

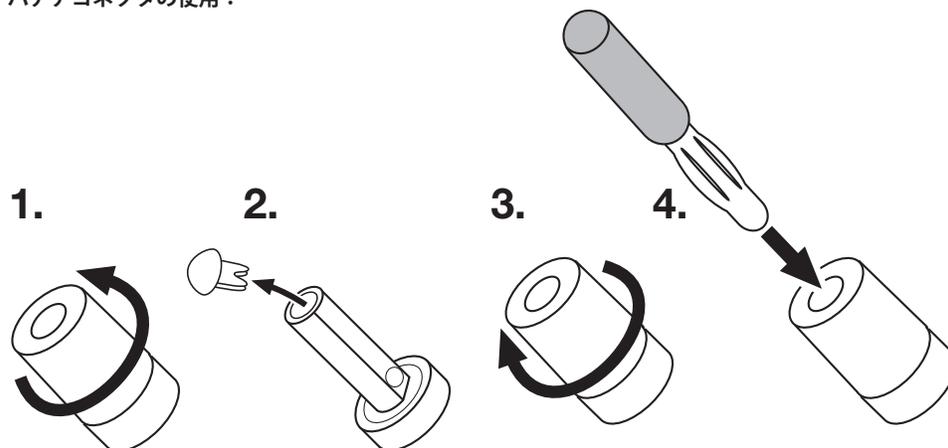
裸線またはピンコネクタの使用：



スパードコネクタの使用：



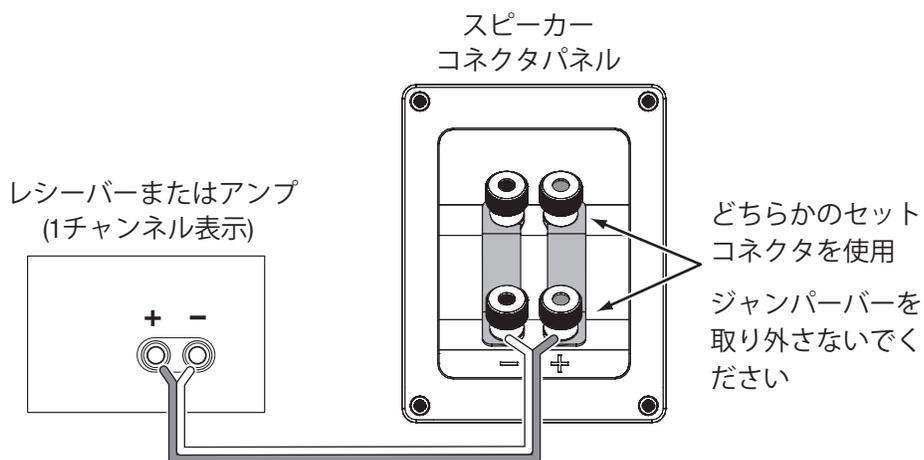
バナナコネクタの使用：



### 基本的なシングルワイヤー接続

シングルワイヤーを使用してスピーカーを接続するには、以下の図に示されているように、各スピーカーにアンプを接続してください。コネクタパネルのどちらか1組のコネクタを使用できます。

**重要：スピーカーワイヤーを接続中に、2組のコネクタ間の金属のジャンパーバーを取り外さないでください。**

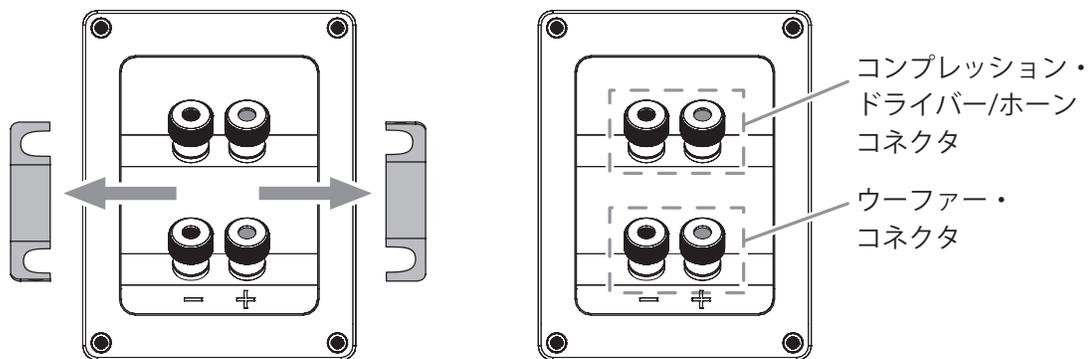


### バイワイヤー接続

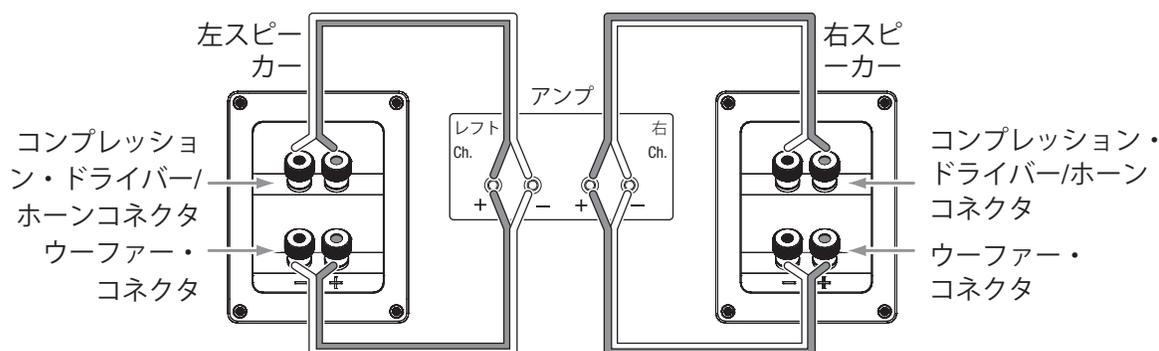
Studio 698/690/680スピーカーコネクタのパネルには、金属製ジャンパーバーで接続されている2組の入力コネクタがあります。上部のコネクタはコンプレッション・ドライバー/ホーンの取り付け用で、下部のコネクタはウーファー用です。ショートに注意し、下図を参考に適切なバイワイヤリング接続を行ってください。バイワイヤリングにより、従来のシングルワイヤー接続よりも、パワーアンプを選択する際の性能的なメリットと柔軟性が得られます。

スピーカーケーブルを接続する前に、ジャンパーバーを取り外してください。

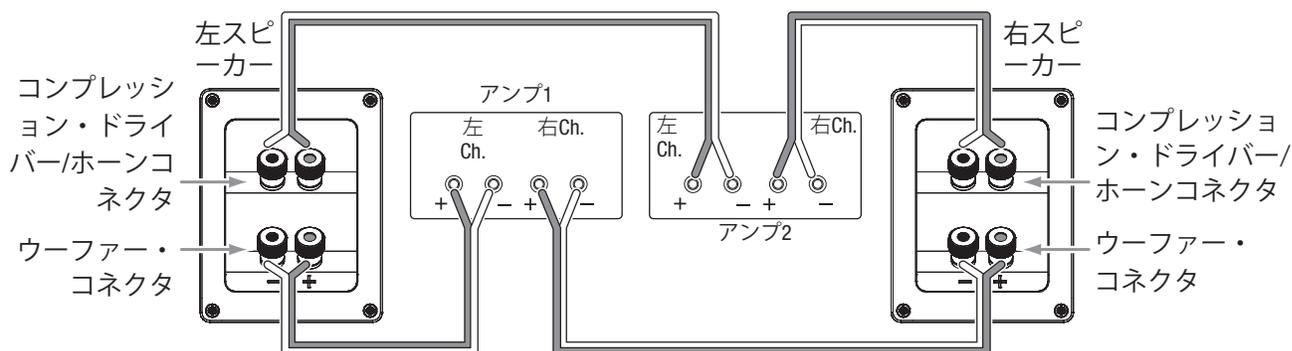
ジャンパーバーを取り外してください



## シングル・アンプのバイワイヤリング



## デュアル・アンプのバイワイヤリング



様々なスピーカー配線と接続オプションについてさらに情報が必要な場合は、お近くのJBL製品販売店にご連絡ください。

## スピーカーの手入れ

- ほこりを取り除くために、清潔な乾いた布でキャビネットを拭いてください。湿った布はキャビネットの仕上げを曇らせることがあります。ベンジン、塗料用シンナーまたはアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
- キャビネットの近くで殺虫剤をスプレーしないでください。
- グリルの布地からほこりを取り除くために、吸引力「低」にセットした電気掃除機を使用してください。
- ホーンの開口部を吸引したり、圧縮された空気を使用しないでください。
- 色落ちしたり、色が均一でなくなる可能性があるため、グリルを水洗いしないでください。
- ウーファーコーンの表面にホコリがついた場合、柔らかく乾いた筆または絵筆を使えば、丁寧に掃除ができます。湿った布を使わないでください。

## 仕様

## STUDIO 698

8インチ、6インチミッド3ウェイ・コンプレッション・ドライバー・フロアスタンディング型ラウドスピーカー

6インチ(152mm)PolyPlasミッドレンジ・トランスデューサー

8インチ(203mm)デュアルPolyPlas低周波トランスデューサー

1インチ(25mm)高周波コンプレッション・ドライバー搭載、高解像度イメージング(HDI)ウェーブガイド

推奨アンプ出力: 最大250W

再生周波数特性: 36 Hz~40 kHz

出力音圧レベル: 90dB、1M、@2.83V

公称インピーダンス: 6Ω

クロスオーバー周波数 320 Hz、1.8 kHz

エンクロージャータイプ: リア・ファイアリング・チューンド・バスポート・リフレックス

寸法(幅x奥行x高さ): 300x400x1058 mm

重量: 35.84 kg

## STUDIO 690

8インチ、2.5ウェイデュアル・コンプレッション・ドライバー・フロアスタンディング型ラウドスピーカー

8インチ(203mm)デュアルPolyPlasウーファー

1インチ(25mm)高周波コンプレッション・ドライバー搭載、高解像度イメージング(HDI)ウェーブガイド

推奨アンプ出力: 最大250W

再生周波数特性: 36 Hz~40 kHz

出力音圧レベル: 90dB、1M、@2.83V

公称インピーダンス: 6Ω

クロスオーバー周波数 600 Hz、1.7 kHz

エンクロージャータイプ: リア・ファイアリング・チューンド・バスポート・リフレックス

寸法(幅x奥行x高さ): 300x350x1058mm

重量: 29.38 kg

## STUDIO 680

6.5インチ、2.5ウェイデュアル・コンプレッション・ドライバー・フロアスタンディング型ラウドスピーカー

6.5インチ(165mm)デュアルPolyPlasウーファー

1インチ(25mm)高周波コンプレッション・ドライバー搭載、高解像度イメージング(HDI)ウェーブガイド

推奨アンプ出力:	最大200W
再生周波数特性:	38 Hz~40 kHz
出力音圧レベル:	88dB、1M、@2.83V
公称インピーダンス:	6Ω
クロスオーバー周波数	600 Hz、1.8 kHz
エンクロージャータイプ:	リア・ファイアリング・チューンド・バスポート・リフレックス
寸法(幅x奥行x高さ):	230x300x1005 mm
重量:	22.64 kg

## STUDIO 630

6.5インチ、2ウェイシングル・コンプレッション・ドライバー・ブックシェルフ型ラウドスピーカー

6.5インチ(165mm)PolyPlasウーファー

1インチ(25mm)高周波コンプレッション・ドライバー搭載、高解像度イメージング(HDI)ウェーブガイド

推奨アンプ出力:	最大150W
再生周波数特性:	45 Hz~40 kHz
出力音圧レベル:	85dB、1M、@2.83V
公称インピーダンス:	6Ω
クロスオーバー周波数	1.9 kHz
エンクロージャータイプ:	リア・ファイアリング・チューンド・バスポート・リフレックス
寸法(幅x奥行x高さ):	230x280x372 mm
重量:	9.02 kg

**STUDIO 620**


---

5.25インチ、2ウェイシングル・コンプレッション・ドライバー・ブックシェルフ型ラウドスピーカー

---

5.25インチ(133mm)PolyPlasウーファー

---

1インチ(25mm)高周波コンプレッション・ドライバー搭載、高解像度イメージング(HDI)ウェーブガイド

---

推奨アンプ出力: 最大100W

---

再生周波数特性: 50 Hz~40 kHz

---

出力音圧レベル: 84dB、1M、@2.83V

---

公称インピーダンス: 6Ω

---

クロスオーバー周波数 2.3 kHz

---

エンクロージャータイプ: リア・ファイアリング・チューンド・バスポート・リフレックス

---

寸法(幅x奥行x高さ): 190x240x312 mm

---

重量: 6.88 kg

---

**STUDIO 610**


---

5.25インチ、2ウェイシングル・コンプレッション・ドライバー壁掛け式サラウンド・ラウドスピーカー

---

5.25インチ(133mm)PolyPlasウーファー

---

1インチ(25mm)高周波コンプレッション・ドライバー搭載、高解像度イメージング(HDI)ウェーブガイド

---

推奨アンプ出力: 最大100W

---

再生周波数特性: 65 Hz~40 kHz

---

出力音圧レベル: 84dB、1M、@2.83V

---

公称インピーダンス: 6Ω

---

クロスオーバー周波数 2.4 kHz

---

エンクロージャータイプ: 密閉型筐体

---

寸法(幅x奥行x高さ): 285x150x300 mm

---

重量: 5.86 kg

---

## STUDIO 665C

5.25インチ、2.5ウェイクアッド・コンプレッション・ドライバー・ブックシェルフ型ラウドスピーカー

5.25インチ(133mm)クアッドPolyPlasウーファー

1インチ(25mm)高周波コンプレッション・ドライバー搭載、高解像度イメージング(HDI)ウェーブガイド

推奨アンプ出力: 最大200W

再生周波数特性: 58 Hz~40 kHz

出力音圧レベル: 90dB、1M、@2.83V

公称インピーダンス: 6Ω

クロスオーバー周波数 600 Hz、2.2 kHz

エンクロージャータイプ: リア・ファイアリング・チューンド・バスポート・リフレックス

寸法(幅x奥行x高さ): 760x230x190 mm

重量: 16.12 kg

## STUDIO 625C

5.25インチ、2ウェイデュアル・コンプレッション・ドライバー・センターラウドスピーカー

5.25インチ(133mm)デュアルPolyPlasウーファー

1インチ(25mm)高周波コンプレッション・ドライバー搭載、高解像度イメージング(HDI)ウェーブガイド

推奨アンプ出力: 最大150W

再生周波数特性: 64 Hz~40 kHz

出力音圧レベル: 85dB、1M、@2.83V

公称インピーダンス: 6Ω

クロスオーバー周波数 1.7 kHz

エンクロージャータイプ: 密閉型筐体

寸法(幅x奥行x高さ): 440x190x190 mm

重量: 8.62 kg



商標	: JBL
商品の名称	: パッシブな音響システム (Studio 610, 620, 630, 625C, 665C, 680, 690, 698)
製造者	: Харман Интернешнл Индастриз Инкорпорейтед, США, 06901 Коннектикут, г.Стемфорд, Атлантик Стрит 400, офис 1500
原産国	: Индонезия
ロシアへの輸入者	: ООО «ХАРМАН РУС СиАйЭс», Россия, 127018, г.Москва, ул. Двинцев, д.12, к 1
保証期間	: 1 год
サービスセンターに関する情報	: www.harman.com/ru тел. +7-800-700-0467
サービス期間	: 5 лет
製造日	: Товар не подлежит обязательной сертификации Дата изготовления устройства определяется по двум буквенным обозначениям из второй группы символов серийного номера изделия, следующих после разделительного знака «-». Кодировка соответствует порядку букв латинского алфавита, начиная с января 2010 года: 000000-MY00000000, где «M» - месяц производства (A - январь, B - февраль, C - март и т.д.) и «Y» - год производства (A - 2010, B - 2011, C - 2012 и т.д.).



ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社  
(HARMAN International Industries, Inc.)  
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA  
www.jbl.com

© 2019 HARMAN International Industries, Incorporated (ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社)。無断複写・転載を禁じます。

JBLおよびHDI (高解像度イメージング)は、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)の登録商標で、米国やその他の国々で登録されています。

PolyPlasおよびSymmetrical Field GeometryはHARMAN International Industries, Incorporated(ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社)の登録商標です。

TeonexはDuPont Tenjin Filmsの登録商標です。

特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。



EN : For additional languages, please visit jbl.com  
FR : Pour les autres langues, veuillez visiter jbl.com  
ES : Para obtener otros idiomas, visite jbl.com  
DE : Informationen in weiteren Sprachen findest du unter jbl.com  
IT : Per altre lingue, visitate jbl.com  
NL : Voor andere talen kun je terecht op jbl.com  
NO : For flere språk, gå til jbl.com  
FI : Muita kielia varten, käy sivustolla jbl.com  
SV : För ytterligare språk, gå till jbl.com  
DA : Der henvises til jbl.com for yderligere sprog  
PL : W przypadku innych języków odwiedź stronę jbl.com  
RU : Если вам нужны версии на других языках, перейдите на сайт jbl.com  
ID : Untuk bahasa lainnya, silakan kunjungi jbl.com  
JP : 他の言語で読むには、jbl.comにアクセスしてください  
KO : 추가 언어에 대해서는 jbl.com에서 확인하십시오  
CHN : 如需其他语言, 请访问jbl.com  
PT : Para outros idiomas, acesse jbl.com  
CHT : 如需其他語言, 請訪問jbl.com  
HE : נוספות לשפות. jbl.com  
AR : لغات إضافية، يرجى زيارة jbl.com

TR04661\_A

